

# クラウドコース開設



九州工業大に新設されたクラウドコンピューティングコース

## 東大などと連携 先端IT人材を育成

九州工業大大学院情報工学府（飯塚市）は本年度、インターネット上の情報処理サービスであるクラウドコンピューティングを開発する人材を育てる「クラウドコンピューティングコース」を開設した。九工大によると、クラウドに特化した教育は世界的にも珍しいという。教材開発などで東京大など4大学と連携し、先端技術の教育基盤の確立を目指す。

クラウドコンピューティングとは、企業や自治体、個人が独自のソフトウェアやサーバーを保有せず、インターネット経由で情報処理サービスを利用するコンピューター活用法。システムへの初期投資や管理費を削減でき、近年はウェブメールや行政の給付金支給・管理、電算システムなどに導入が進んでいる。九工大によると、クラウドは現在、IT大手のグループなど主にサービスを提供する企業が独自に開発しているが、専門的な教育基盤は整っていないという。

クラウドコース新設は、文部科学省の「分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク」の一環。他に東京大、東京工業大、大阪大、神戸大が参加し、本年度それぞれ専門コースを開設した。企業のシステム技術者による授業や教材開発では5大学が連携して効率を高める。

の技術者は開発だけでなく、クラウドを利用することにも期待したい」と側にも欠かせない。学生たちがユニークなアイデアでビジネスに挑戦する話す。

（中野慧）